

1. 科目名 (単位数)	心理学概論 (2単位)	3. 科目番号	GELA1111
2. 授業担当教員	小澤 良		
4. 授業形態	講義・演習 (ディスカッション、グループ学習含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「心理学入門」を履修済みであること。		
7. 講義概要	心理学は、人の行動や感情を科学的に研究することを通して、人間を理解しようとする学問である。本科目は、心理学の主要な分野における代表的な研究知見や基礎理論を幅広く学び、人間の行動と精神活動の本質的な理解を図るものである。また、心理学の基礎理論の理解を通して、心理学的思考方法の習得を促す。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学としての心理学の基本的な考え方を身につける。</li> <li>2. 心理学の成り立ちを理解したうえで心理学の主要な分野における代表的な研究知見に基づいた人の心の基本的な仕組み及び働きについて説明できるようになる。</li> <li>3. 心理学の考え方や基礎理論に基づいて、身近な具体性のある人間理解ができるようになる。</li> <li>4. 心理学的視点から、自己、他者、社会の問題について考え、他者に伝えられるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	途中で宿題を求めることはないが、予習・復習をおこなうこと。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 指定しない (資料を事前に配布する)。 <b>【参考書】</b> デヴィッド・マイヤーズ著『カラー版 マイヤーズ 心理学』西村書店、2015。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.心理学が生まれてきた歴史を概観し説明することができる。</li> <li>2.心理学系専門科目を学ぶための基礎となる人の心の基本的な仕組み及び働きについて説明できる。</li> <li>3.心理学的視点や基礎理論に基づいて、身近な具体性のある人間理解ができる。</li> </ol> ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度 (授業への積極的参加) 30%、試験(小テスト等を含む)70%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	心理学は、保育・教育・福祉・医療・産業など、受講生の皆さんが将来関わる様々な分野に応用がなされている。応用のための基礎を身に付け、各自が学習目標に到達するために、(1)高い緊張感と積極的な態度で授業に臨むこと、(2)理解できないことをそのままにせず質問すること、(3)レポートの提出期限を厳守すること、(4)自らの意見を述べる機会を模索すること、(5)遅刻・欠席・早退をしないこと、(6)携帯電話の授業中の作動は厳禁。他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) を慎むよう心掛けること。		
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (講義概要の説明) 心をどのように考えるか(心理学の成り立ちを理解する)	事前学習	シラバスを読んで内容を確認しておくこと。
		事後学習	心に関する考え方について復習する。
第2回	心の生理的基盤を理解する	事前学習	講義資料を熟読し、「神経系の情報伝達過程」について A4 用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「神経系の情報伝達過程」について復習する。
第3回	感覚・知覚心理学 (人はどのように外界を知るのかを理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「感覚・知覚」について A4 用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「感覚・知覚の特性」について復習する。
第4回	学習の心理学 (古典的条件づけ・オペラント条件づけによる学習を理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「古典的条件づけ・オペラント条件づけ」について A4 用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「古典的条件づけ・オペラント条件づけ」について復習する。
第5回	視覚的認知 (物体はどのようにして認知されるのかを理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「物体認知」に関して A4 用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「物体認知」について復習する。
第6回	記憶の心理学 (情報はどのように記憶され、変容するのかを理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「記憶システムの仕組みと情報を変容させる要因」について A4 用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「記憶システムの仕組みと情報を変容させる要因」について復習する。
第7回	行動経済学 (意思決定は何に影響されるのかを理解する) ①	事前学習	講義資料を熟読し、「意思決定に影響する要因」に関して A4 用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「意思決定に影響する要因」について復習する。

第8回	行動経済学(意思決定は何によって影響されるのかを理解する)②	事前学習	講義資料を熟読し、「意思決定に影響する要因」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「第8,9回の内容に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
第9回	社会心理学(対人認知について理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「対人認知」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「対人認知」に関して復習する。
第10回	発達心理学(愛着の形成について理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「愛着の形成」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「愛着の形成」に関して復習する。
第11回	個人差①(知能について理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「知能」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「知能」に関して復習する。
第12回	個人差②(性格について理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「性格」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「性格」に関して復習する。
第13回	正常と異常(心理療法に関して理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「心理療法」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	心理療法に関して復習する。
第14回	意識(意識に関する考え方を理解する)	事前学習	講義資料を熟読し、「意識」に関してA4用紙一枚程度にまとめること。
		事後学習	「意識」に関して復習する。
第15回	まとめ	事前学習	各テーマに関してまとめる。
		事後学習	学習目標を達成できたか確認する。